



碧南ロータリークラブ週報

第2616回例会 平成24年11月7日

- 会長 黒田 昌司
- 幹事 木村 徳雄
- 会場監督(SAA) 新美 雅浩

2012-2013 年度 国際ロータリーのテーマ

■例会日 毎週水曜日 12:30 ■例会場 碧南商工会議所ホール
 ■事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
 TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
 ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
 E-mail: info@hekinan-rc.jp

■会報委員 菅原優・鈴木泰博・服部弘史・大竹密貴



●齊 唱

国歌「君が代」
 ロータリーソング「奉仕の理想」

●四つのテスト唱和

●本日のメニュー

和風弁当 大正館

●本日のお客様

地区ロータリー財団委員長 深谷友尋様 (名古屋みなとRC)
 体験例会 岡本煉瓦(株) 代表取締役社長 岡本耕也様

新入会員入会式

新入会員 渡辺君

会 長 挨 拶

今朝からテレビで、アメリカの大統領選挙についてやっております。オバマが勝つかロムニーが勝つか、民主党が勝つか共和党が勝つか、日米関係はどうなるか、また、世界がどうなるかについてお話をしたいのですが、時間がなくなりますので、本日はなぜ「president (プレジデント)」が「大統領」という日本語になったかについてお話をしたいと思います。

この言葉は、1787年にアメリカ憲法を發布する際にできた言葉でございます。プレは「前に」という意味で、後ろの言葉は「座る」という事で、人々の前に座るとするのが本来の意味でございます。日本に紹介されたのが、1853年にペリーが浦賀に来航した際に、幕府の方でプレジデントをどのように訳そうかとなり、担当した日本全権大使の林大学頭 (はやしだいがくのかみ) がいろいろ考えました。頭、親方、元締め、棟梁などいろいろ案が出ました。検



黒田昌司会長

討した結果、棟梁に決めようという事になり、棟梁の字が偉い人には申し訳ないという事で、統領という字になりました。2文字とも、治めるという意味がありますので、いい言葉になったと思います。

どちらが当選するにせよ、「棟梁」だけに、日本なり生活なりが良くなり、安全で暮らしやすい状況を、お互いに助け合いながら作って頂きたいと考えております。

幹 事 報 告

- ・ 先週ご報告致しました、東日本大震災被災高校生支援募金の納入書を配布致しますので、ご入金をよろしくお願い致します。
- ・ インターシティーミーティングのご案内ですが、出欠席もお願い致します。登録料の入金の方もまた配布させて頂きます。



木村徳雄幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

総会員数 69 名 (内出席免除者 13 名の内出席者 12 名)出席者 56 名	
出席対象者 56/67 名	出席率 83.58%
欠席者 13 名(病欠者 1 名)	前々回修正出席率 96.92%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

国際ロータリー第 2760 地区 地区ロータリー財団委員会 委員長 深谷友尋様

今月はロータリー財団月間です。卓話をさせていただきます。

加藤 良邦君 平成 24 年 11 月 3 日秋季大祭、お陰様にて天候に恵まれ、皆様方の御力添えを頂き、無事に終える事が出来ました。深く感謝致します。

池田 弘孝君 本日の卓話の講師 深谷友尋さんを歓迎いたします。

伊藤 正幸君 本日、体験例会で岡本さんにお越しいただきました。皆様よろしくお願い致します。

葵カントリー霜月杯で、ワンアンダーでラウンド出来ました。

角谷 信二君 石橋嘉彦さん、菅原 優さんにお世話になりました。

渡辺 君 本日入会させて頂く、三菱東京UFJ銀行の渡辺です。皆様仲良くして下さい。宜しくお願い申し上げます。

<親睦活動委員会>

会員誕生日

20日 森田 英治君 27日 奥田 雪雄君 29日 竹中 誠君

奥様誕生日

3日 石川 春久君の奥様 美鈴様 17日 菅原 優君の奥様 恵子様
20日 木村 徳雄君の奥様 小百合様 28日 角谷 修君の奥様 由美様

結婚記念日

2日 森田 英治君・明美様 54年 2日 犬塚 敦統君・清子様 45年
3日 新海 孝司君・真由美様 23年 3日 寺尾 正史君・広美様 23年
5日 木村 克美君・由利子様 44年 5日 杉浦 保子君・義己様 34年
6日 杉浦 求君・静子様 47年 8日 新美 雅浩君・美由紀様 25年 (銀婚)
12日 角谷 修君・由美様 16年

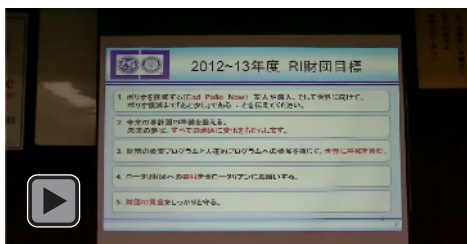
入会記念日

2日 中根 佑治君 4日 植松 敏樹君、奥谷 弘和君
7日 渡辺 君

卓 話

「ロータリー財団未来の夢計画について」

地区ロータリー財団委員長 深谷友尋様



深谷友尋様

RIの財団の目標でございますが、本年度は、ポリオを撲滅するという大きな目標を掲げており、すでに目標に近づいております。子供達を少しでも救おうという事で、WHOや多くの財団のチームと組んで活動をして参りました。更なる皆様のご支援を賜りたいと思います。

未来のFutureVision、私どもは3年目を迎えます。全世界には543地区、その中の100地区がパイロット地区という、新しいプログラムをやる地区が任命されました。地区の財政状況、地区の会員数、地区の今までの活動などを考慮して選ばれました。名誉ある地区として、私どもも日本の中の6地区の1つとして選ばれました。もちろんロータリー財団は資金がなくては活動できないわけでございます。全ロータリアンに、エブリロータリアン、エブリエヤーと、100ドルを皆様をお願いしているわけでございます。資金の活用に関して、明瞭会計をやらなければなりません。資金の流れがどこに行くのか分からない、どんな人に使われているのか分からない、という内容のお尋ねがあるわけでございます。最近国際ロータリーも非常にその事に神経を費やしているのです、公認会計士をはじめ、多くの財務担当をするスタッフを揃えて明瞭会計に努めております。

今までの活動は、会長が1年単位でございますし、RIの会長も1年でございます。よって単

年度事業が多く、継続事業がなかなか根付かない、もしくは地域のリーダーを育て上げる事ができなかったわけでございます。FutureVisionでは、ロータリーファミリーを増やして、そして地域のリーダーを増やして、活動も常に分かる事業にしてきたわけでございます。

碧南ロータリー様の今後、何が変わるかについてお伝えしたいと思います。

まず一つは財団の資金でございます。財団資金の管理は地区の管理へとシフトしました。地域のニーズに応じて碧南ロータリー様自身が、提案していく訳でございます。責任は非常に重いわけですが、明瞭会計と同時に活動の報告もしっかり保管しなければなりません。もちろんITの管理をしっかり行う事が大切になります。

良い点ですが、クラブの裁量が増えたという事です。そのため、奉仕活動の多岐に渡るニーズが出て参りましたので、その解釈基準を低く致しました。つまり、今まで規制をかけていた事業が可能になりました。地区の資金の増額につきまして、地区活動、クラブ活動が活発になって参りました。資金は我々のものだという、ロータリアンの意識の向上に繋がったわけでございます。

負担の部分として専門職の力が問われます。なおかつ、グローバル補助金は英語で申請をしなければなりません。本日もRIの会議をやって参りましたが、全て英語でございます。今までは外国の方が担当でしたが、幸いな事に、今年から佐藤さんという日本の方が日本の担当になりまして、これからは日本語でも十分申請ができる事になりましたので、少し負担が減ったかなと思います。

日本で私どもの当地区だけでございますが、職業研修チームを通期に渡る派遣をする事を決定しております。これは日本では成功しておりませんが、当地区が初めて成功致しまして、3年目を迎えております。そのためには相手国の理解も必要でございます、相手国がどうしても、「GroupStudyExchange（研究交換グループ）」の意識が高いので、新しい職業研修プログラムだという事を説明するのがとても難しかったです。

当ガバナーの今年度の財政報告をさせていただきます。(プロジェクターをもとに細かく金額の説明をしているため、動画のみ。前頁の動画参照。)

RIの元会長のロバートバーンズは、「年次寄付は、毎日庭に水をまき、花々に水を供給するようなものである。恒久基金は、いつでも水をまけるように十分な水を用意している貯水池のようなものである。」と言いました。恒久基金はこの運用池を使って、そして多くのプログラムを達成しているわけございまして、プログラムの持続性こそ大切な目標でございます。

恒久基金の目標でございますが、2025年までに10億ドルを目標として掲げております。今現在、2012年3月31日の報告では、7億4,220万ドルが拠出されておまして、純資産としては2億4,940万ドル、各国に集まってきている予測額は4億9,280万ドルございます。どこに投資をしていたかと言いますと、米国やヨーロッパの株式に投資をしておりました。それと債券の15%です。これらを大まかな財源として恒久基金を運用しております。年間の大体の収益率は5.7%ぐらいです。成績的には優秀ではないかと思えます。

また、私どもの年次寄付の一人当たりの額ですが、パイロット地区になった年は126ドルから140ドルまで上がったわけですが、昨年は138ドルに落ちました。東日本大震災の基金を別で作ったため下がったわけですが、基本的には右肩上がりでございます。世界の寄付額

ですが、2011年度、2012年度の単年度の総寄付額は、179,963,923ドル88セントが全世界のロータリアンから年次寄付として頂いた額でございます。

日本は、17,791,462ドル12セントの寄付を頂く事ができました。当地区は、1,028,301ドル6セントを頂戴する事ができました。碧南RC様は、昨年度69名のご登録がございまして、一人当たりの平均額が111ドル32セントでございました。ご協力に感謝申し上げます。

職業研修の昨年度の事業ですが、子供達にドクターがつきまして、衛生に関するお話をして参りました。2012年は小学生を1名送る事ができました。今年度はロンドンのロースクール大学に行っております。

このようにロータリー財団は多岐に渡り活動をしているわけですが、これらは全て碧南ロータリアンの財団であるという事を最後に申し上げまして、卓話とさせていただきます。

次回例会案内 平成24年11月21日(水)

卓話「介護現場より」

社会福祉法人 碧晴会 川口結いの家

統括マネージャー 齋藤 健氏